

「那須烏山市総合戦略」策定に向けた基本的方向

平成27年4月に作成した『「人口ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けた人口動向分析・将来人口推計について（中間報告）』（以下、「中間報告」という。）により論点整理を行い、その結果を基に基本的方向性を示す。

なお、今後アンケート調査や地域経済分析システムの活用、県の動向などにより修正を加えていく。

1. 取り組みにあたっての基本姿勢

- 人口減少による本市課題を市民と共有認識し、人口減少克服と地方創生に一丸となって取り組んでいく。
- 人口ビジョンにおける「今後の基本的視点」を踏まえ、基本目標を設定し確実に実行していく。
- 人口流出防止、出生率向上により人口減少に歯止めのための戦略「積極的戦略」と効果的・効率的な行政・まちづくりによる人口減少に即した戦略「調整戦略」に取り組む。
- 将来の都市構造を踏まえ、潤いある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を形成する。
- 魅力あるまちづくりに取り組み、その取り組みを市内外に発信することにより、人口減少の歯止めを着実に進めていく。

2. 政策の企画・実行にあたっての基本方針

- 基本目標の実現に向けて、今後、関係各課による企画・実施する各施策から政策を構成していく。
なお、各施策については、短期的に実施可能な施策と構造的な改革を視野にいたした中長期的な施策があり、これらを組み合わせて「総合戦略」を策定していく。
- 施策を企画・実施するにあたり、人口減少の要因及び論点整理を踏まえ取り組むこととする。
- 国の政策5原則に基づき、中長期を含めた客観的データにより政策目標（具体的目標：重要業績評価指数（KPI））を設定し、効果検証により改善する仕組み（PDCAサイクル）を確立する。（予算重視から決算・成果重視）
- 限りある財源の中で人口減少対策に取り組むため、財政の中長期的推計を設定する。

3. 政策の基本目標

- 「人口ビジョン」を踏まえ「総合戦略」では以下の「基本目標」を設定し、様々な政策による効果を集約し、人口減少問題に取り組んでいく。
- 政策の基本目標については、成果を重視した総合的な成果指標を設定し、政策には重要業績評価指数（KPI）を設定する。

基本目標① 本市における安定した雇用創出し、安心して働けるようにする

基本目標② 本市への新しいひとの流れをつくる

基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標④ 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る

4. 政策の基本的方向

- 政策の基本目標ごとに成果指標を設定し施策の基本的方向を示す。
- 施策を踏まえ政策に対する重要業績評価指数（K P I）を設定していく。

基本目標① 本市における安定した雇用創出し、安心して働けるようにする。

○本市の雇用を支える産業の強みを活かすとともに、地域資源を活かした新たな需要や起業者を生み出し安定した雇用を創出する。また、雇用の量ばかりでなく魅力ある職場づくりなど雇用環境の充実を図る。

【成果指標例：雇用創出数（年間有効求人数、有効求人倍率）】

<施策の基本的方向>

- 地元企業の基盤強化
- 雇用情報の提供や就職支援の充実、また就職後の仕事の相談ができる環境整備
- 地域資源を活かした新しい産業の創出
- 地域のブランド化による6次産業化の促進
- 起業者に対する優遇措置
- 高齢化を見据えた産業の創出

基本目標② 本市への新しいひとの流れをつくる

○魅力あるまちづくりに取り組み、その魅力を市内外に発信し人口移動を抑制する。また、観光資源等の魅力を発信し、交流人口の増加につなげ地域の活性化を図る。

【成果指標例：人口純移動数、観光入込数】

<施策の基本的方向>

- 地元企業の魅力発信
- 都市への交通インフラ整備等により通勤や通学等にかかる負担を軽減し利便性を高めなど住みやすい環境整備
- 農村と都市との交流を通じた農家民泊、農業体験、田舎体験等々により地域資源の魅力を発信
- 観光資源を活用した交流人口の増加
- 歴史・文化・スポーツ等による地域活性化
- 本市の取り組みや支援制度など、市内外への積極的な情報発信

基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

○若い世代の結婚・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境の整備を進める。

【成果指標例：合計特殊出生率及び出生数】

<施策の基本的方向>

- 結婚に魅力を感じる環境、体制づくりとして、出会いの場、機会の創出及び相談体制の充実
- 若い世代の生活を安定させるための経済支援・人的支援
- 子育てへの指導、助言、相談等の更なる体制整備
- 教育・医療・住宅など子どもを産み育てやすい環境の整備
- 地域全体で働きながら子育てできる環境整備
- 仕事と生活の調和とれた環境の実現

基本目標④ 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る

○しごとづくり、ひとづくりは、それを支える「まち」の活性化が必要であり、潤いある豊かな生活を安心して営むことができる持続可能な地域社会を形成する。

- 中心市街地の再生・整備・活性化
- コンパクトシティを基本としたまちづくりと交通ネットワーク形成
- 限界集落・準限界集落に対する対応
- 地域コミュニティの推進
- 空き家対策の推進
- 世代間関係の再構築
- ICTを活用した地域活性化
- 安心安全なまちづくり
- 英語ビレッジ構想の確実な取り組み